

地域づくりが広がります

そのような犯罪に遭うことなく毎日を平穩無事に暮ら
ちが協力して行っている活動を紹介します。



▲5月28日の巡回では2グループに分かれて見回りました。この日は午前中に公園で、消火器の使い方など防火訓練も行ったそうです

「平成2年から使っているこのノートは残り5ページ。今年中に使い切りそうです」
日誌を手にした加藤さん▼



この「防犯夜回り」は、ほかの町内会で行っている話を聞いて、同町内会で取り入れました。そして昨年からの隣の学田第二町内会でも同様の取り組みを開始しました。このように地域から地域へと、自主防犯活動が伝わっています。「無理をせずできることから」を合言葉に。

また、一緒に話をしながら歩くことで町内の連帯感が強まりました」と加藤さんは話します。



▲施錠していない自動車を見つけると持ち主に注意を呼び掛けます。この日は2グループ合わせて6台発見しました

耳に響きます

太平パークタウン町内会では、月に二回拍子木の音がカーン、カーンと響き渡ります。これは、同町内会の各班が一月月ごとに輪番制で当番を受け持ち、毎月第二、第四土曜日午後九時から「防犯夜回り」を行っている音です。この活動は、同地域で空き巣の被害が相次いだり、中学生の非行化が社会問題になったりしたことをきっかけに、自分たちの住む地域を自分たちで守ろうと、昭和五十八年から始めたそうです。当初は毎週末と小・中学校の夏・冬休みを実施していましたが、だんだんと地域の防犯意識が高ま

るとともに、空き巣などの被害が減ったことから現在は月二回活動しています。「防犯夜回り」では①順路図を持つ先導役②懐中電灯を照らしながら自動車の施錠を確認する役③拍子木を打つ役—を分担して、三十分ほどで町内を足早に巡回します。そして同町内会防犯部長の加藤実さんが毎回その結果をまとめて防犯記録日誌に記入するそうです。「大雪や強風の日は大変ですが、途中で行き合う方々が『ご苦労様です』と声を掛けてくれるのです。その温かな気持ちが届みになりますね。」



▲23年間使用している手作りの拍子木は家具の部品を再利用したもので、ずっしりとした重みがあります

平成十七年一月一日から五月三十一日までには北警察署管内で発生した犯罪は、千八百八十件。このうち路上窃盗や車上狙いなどの身近な犯罪は千百三十四件。いずれも昨年の同時期に比べて約二十五パーセント減っています。これは防犯パトロール隊など地域の自主防犯活動の成果と思われま

当署管内には各地域の二十二防犯協会によって札幌北防犯協会連合会が組織され、さまざまな地域安全運動を繰り広げています。五月十一日には「春の地域安全運動」の一環として各団体から約百五十人が参加し地域安全パレードを行いました。同連合会と協力して防犯に関するパンフレットも二種類作成し当署で配布していますので皆さんも参考にしてくださいね。また、各地区の自主防犯活動への支援もしていますので、お気軽にご相談ください。

北警察署(北24西8)生活安全課 ☎(727)01110



北警察署生活安全課生活安全第一係

堀井信一係長・談

防犯活動について